

【法蔵館文庫】

〈小さき社〉の列島史

歴史・民俗

うしやま よしゆき

牛山佳幸著 ▼文庫判・並製カバー！336頁・定価 一、四三〇円

2024年3月刊行



「村の鎮守」はいかに成立し、変遷を辿ったのか。各地の同名神社群に着目し、現地調査と文献を鍵に、分野の枠を越えた考察を試みる。

【目次】

はじめに

第一章 印鑰神事と印鑰社の成立

はじめに

- 一 国衙関係の印鑰社の研究状況
- 二 各国の印鑰社の現状と沿革
- 三 請印作法から印鑰神事へ
- 四 印鑰信仰の二次的性格

第二章 早良親王御霊その後——崇道天皇社からソウドウ社へ

はじめに

- 一 備後国大田荘の「宗道社」から
- 二 現存するソウドウ社の分布状況とその特徴
- 三 中世荘園における崇道社の存在形態
- 四 崇道社の鎮座地と古代地方官衙との関係
- 五 早良親王御霊の形成過程と崇道天皇御倉

第三章 女人上位の系譜——関東地方の女体社の起源と性格

はじめに

- 一 関東地方における女体社の分布状況
- 二 成立時期をめぐる問題
- 三 「女体」の語源と女体社の性格
- 四 後北条氏政権と女体社信仰

第四章 「ウナネ」およびウナネ社について

——伊賀・陸奥・上野・武蔵の事例から

はじめに

- 一 古代・中世におけるウナネ社の存在形態
- 二 武蔵国の事例にみる「ウナネ」地名の特質

むすび

あとがき

法蔵館文庫あとがき

付録 本書に登場する小社分布図

◆著者略歴

牛山佳幸(うしやま よしゆき)

一九五二年、長野県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科にて学ぶ。信州大学学術研究院教育学系教授を経て、同大学名誉教授。専攻は日本古代中世宗教史。著書に『古代中世寺院組織の研究』(吉川弘文館)、『善光寺の歴史と信仰』(法蔵館)がある。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
牛山佳幸著	法蔵館
〈小さき社〉の列島史	定価 一、四三〇円
ISBN: 978-4-8318-2662-6 C0121	【法蔵館文庫】
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp